

1.5%酢酸の使用について

使用内容	胃の内視鏡検査の際に、胃粘膜に散布して使用
対象患者	当院で胃の内視鏡検査を受ける患者
実施期間	永続的に使用
目的・概要	早期胃がんや早期バレット食道癌の診断において、通常の観察では病変境界が不明瞭な場合に、酢酸を散布することで境界が明瞭になることが知られています。医療用医薬品である氷酢酸を希釈、滅菌し、内視鏡鉗子口から胃内もしくは食道内の病変領域に散布します。
想定される不利益	薬剤の添付文書に記載された適用上の注意に準じて治療を行うため、一般的に想定される副作用と同等と考えられます。本剤施用に伴う有害事象などの健康被害が生じた場合は、適切な診療と治療を行います。
当院で使用する理由	早期癌の内視鏡治療においては、その範囲診断は極めて重要です。病変境界の明瞭化のため使用します。
使用に関する同意について	当院では対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行い同意をいただく代わりに、ホームページに情報を公開することにより実施します。本件に同意をいただけない場合やお問い合わせなどありましたら、担当医師にお申し出ください。

栃木県立がんセンター 病院長